

神根中だより

～聴き合い、学び合える居心地の良い学校～

令和5年10月号

学校教育目標
主体的に学び合い
心豊かでたくましい生徒



川口市立神根中学校

〒333-0823 埼玉県川口市石神1515-1
電話 (048) 296-7025

りこうな馬ハンス

校長 松村 一人

これは100年以上前にあった本当のお話です。

ドイツに、オステンさんという人がいました。オステンさんは、「馬も人間と同じような知恵をもっているに違いない。もし、馬にちゃんと勉強を教えたら、きっと人間と同じような知恵を出すに違いない」と考えていました。そして、オステンさんは、かしこそうな馬を買ってきて、「ハンス」と名付けて、勉強を教えました。でも、どんなにりこうな馬でも、人間の言葉を話せることはできません。そこで、答えを口で言う代わりに、足でトントンとたたかせることにしました。その答えの数だけ床をたたかせるのです。答えが「4」だったら、「トントントントン」と4回たたかせるのです。そこで問題です。

【問題1】 馬のハンスは、「 $2+3$ 」や「 $4+6$ 」という問題に正しく答える（正しい数を足でたたく）ことができたでしょうか？

ア. できた イ. できなかった

【答え】

ハンスはちゃんとできました。「 $2+3$ 」では「トントントントントン」と5回たたきました。「 $4+6$ 」では、10回たたいたのです。

オステンさんは、馬でも勉強すれば知恵をはたらかせることができると自信を持ちました。ハンスの話は人々の間に広まり、有名になりました。ところが、人々の中には「そんなことは信じられない」という人もいました。この人達は、オステンさんからハンスを借りて、オステンさんのいない所で問題を出してみました。

【問題2】 オステンさんのいない所でも、馬のハンスは正しく答えることができたでしょうか？

ア. できた イ. 全然できなかった

【答え】

オステンさんのいない所へ連れて行かれたハンスは、別の人が出した問題にも見事に答えてしまいました。

こうなると、学者達もこの話を「ばかばかしい」と笑ってすますことはできなくなりました。そこで、馬の専門家や動物学者などが、ハンスを調べました。しかし、いろいろ調べても、インチキらしいところは見られませんでした。

ところが、プングストという人は、「それはおかしい。馬は人間のように考えることはできない。」と言って、それを実験で証明して見せました。

【問題3】 プングストさんは、どのような実験をしたのでしょうか？（答えは次号）